

みずほCustomer Desk Report 2021/10/04号(As of 2021/10/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.43
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.46	1.1576	129.02	1.3472	0.7229
SYD-NY High	111.48	1.1607	129.03	1.3575	0.7276
SYD-NY Low	110.91	1.1564	128.57	1.3434	0.7193
NY 5:00 PM	111.08	1.1594	128.76	1.3543	0.7268
NY DOW	34,326.46	482.54	日本2年債	-0.1200	1.00bp
NASDAQ	14,566.70	118.12	日本10年債	0.0500	▲2.00bp
S&P	4,357.04	49.50	米国2年債	0.2648	▲1.57bp
日経平均	28,771.07	▲ 681.59	米国5年債	0.9288	▲4.17bp
TOPIX	1,986.31	▲ 43.85	米国10年債	1.4642	▲2.75bp
シカゴ日経先物	29,100.00	▲ 250.00	独10年債	-0.2205	▲2.75bp
ロンドンFT	7,027.07	▲ 59.35	英10年債	1.0010	▲1.90bp
DAX	15,156.44	▲ 104.25	豪10年債	1.4880	0.70bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	5.68	0.00%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.83	▲0.08%
NY金	1,758.40	1.40	USDJPY 6M Vol	6.15	0.05%
WTI	75.88	0.85	USDJPY 1M 25RR	-0.29	Yen Call Over
CRB指数	230.382	1.46	EURJPY 3M Vol	5.95	▲0.11%
ドルインデックス	94.04	▲ 0.20	EURJPY 6M Vol	6.27	0.01%

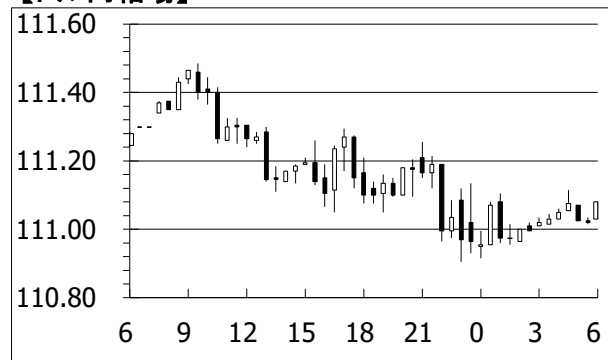
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月1日	15:00	独 小売売上高(前月比)	8月 1.1%	1.5%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	9月 0.5%/3.4%	0.5%/3.3%
	21:30	加 GDP(前月比/前年比)	7月 -0.1%/4.7%	-0.2%/5%
	21:30	米 個人所得/個人支出	8月 0.2%/0.8%	0.2%/0.7%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	8月 0.4%/4.3%	0.3%/4.2%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	9月 60.7	60.5
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 72.8	71.0
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 61.1	59.5

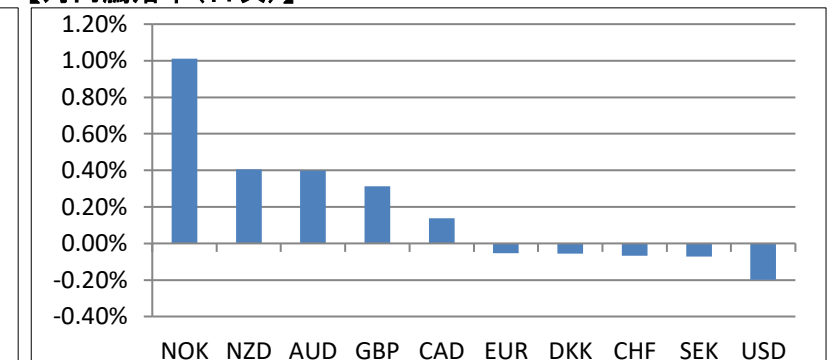
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月4日	21:00	英 ラムスデンBOE副総裁 講演	-	-
	23:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 製造業受注(前月比)	8月 1.0%	0.4%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	8月 1.8%	1.8%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	8月 -	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.156-1.165	128.50-129.50

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は株式市場が軟調に推移する中、リスク回避の動きが強まり円が強含む展開で東京時間からじわじわと下値を試す展開に。期末、月末のドル買いを通過したことによるドル売りも強まった海外時間には一時110.91まで下落するも、ISM製造業指数、ミシガン大学指数が予想を上回る結果にドルは買い戻されて111.13まで戻すも、結局111円挟みで越週。本日のドル円は材料乏しく小動きか。FOMC以来続いたドル買い相場に対してペインはドル安方向だが、岸田新政権の円相場への影響は限定的とみられ、ドル円に動きがでてくるのは中国長期休暇明け、9月米雇用統計が重なる週後半か。一方でリスクは引き続き中国恒大絡みのヘッドライン。リスク回避姿勢の高まりは株安を促し、クロス円の下落がドル円上値を重くするだろう。

東京	東京時間のドル円は111.46レベルでオープン。米10年債利回りが1.47%近くまで低下したことや、日経平均株価が一時700円超安となったこと等も相まって、リスク回避の円買いが進行。ドル円は終日を通して軟調推移となり一時111.11まで下落し、結局111.14レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.14レベルでオープンし、動意に乏しい値動きに終始。約25銭のレンジにて横ばいし、111.17レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、世界的に株式市場が軟調に推移する動きにリスク回避の動きから円が買われ、また期末のドル買いを通過したことからドルが売り戻される動きもあり、ドル円は上値を重くし111.17レベルでNYオープン。朝方発表された米8月個人所得は予想と一致し、個人支出は予想を上回ったが前回分が下方修正された。同時に発表された8月PCEデフレーターは予想を若干上回るが、これまで伸び率が高かった外食・宿泊が下落に転じ、中古車・レンタカーも引き続き低下していることから、一時的な要因で上昇していたものが正常化していることもあり、その後はドル売りが強まり110.91まで下落する。NY時間10時に発表された米9月ISM製造業景況指数が61.1と前回59.9から改善し、同時に発表された9月ミシガン大学消費者信頼感指数(確報値)も予想を上回ると、ドルが買い戻され111.13まで戻す。その後は週末ということもあり、111円ちょうど付近での閑散な推移が続き、111.08レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、海外市場で前日からのドル売りが継続したことから1.1598レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1607まで戻すが、ISM製造業景況指数結果を受けたドル買い戻しに1.1584まで反落する。午後は週末を控え方向感の無い推移が続き、1.1594レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。